

2015 年（平成 27 年）2 月 26 日

逗子市教育委員会教育長 様

逗子市立久木小学校長

平成 26 年度 「学校関係者評価」 年度末評価について（報告）

次のとおり 平成 26 年度 学校関係者評価における年度末評価をご報告します。

三つの柱	項 目	学校が重点的に取り組んだ項目の目標達成状況及び学校の取り組みの適切さ	改善方策についての意見
I 子どもたちの 学力向上	1 個に応じた指導 の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・学級経営に課題を抱えている学級もあるが、適宜ケース会議をするなど、組織的対応をしている点は評価できる。授業改善、保護者への発信協力、個々の児童に応じた適切な対応を進めることが必要である。 ・専門の相談員がいることは、児童・保護者に取り、大変良いことであると考え。教員も安心して指導に当たれるだろう。 ・若い教員、経験の浅い教員が増える中で、学年の協力体制や教材研究の重要性を再度見直し、分かる授業・楽しい授業を目指してもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学級経営と授業改善は重要であり、その改善が個に応じた指導の充実へつながる。個々の教師の指導力向上を図りたい。 ・授業妨害等、課題を持った児童への対応、学級への支援体制、保護者対応など、状況に応じた支援体制をこれまで以上に望む。
	2 健やかな心と身 体の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、学習支援ボランティアを活用し、稲作作り、大豆作り、昔遊び等の体験活動を実施し、食物を生産することやお年寄りとおふれ合うことを通して豊かな心の育成を目指してもらいたい。 ・今年度も継続して、味噌作りや豆腐作り等の活動を進めている。その学習の発展として、異学年間の交流や地域の方々との交流を深めることができたことは評価できる。保護者にも学習参加を積極的に呼びかけていくとよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校支援地域本部のより一層の活性化を図り、充実した体験活動を継続してもらいたい。 ・久木小ならではの活動を教育活動の中に位置付け、これまでの積み重ねを大切にしていくとよい。 ・保護者が来校し学校の教育活動などを見ることは、学校の活性化にもつながる。今後も、直接、保護者が関われる機会を増やしていくと良い。

II 課題に迅速に対応する学校づくり	1 多様な教育課題への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・学校防災体制については、これまでの調査研究を踏まえ大規模災害時の第一次避難場所を屋上としたことは理解できるが、より良い方策の継続検討を願う。 ・久木小が実施している避難訓練を基に、「防災教育年間計画」を作成し、教職員が年間を見通して防災に係る指導を実施することができるように考えたことは評価できる。 ・4年生を対象として実施した「防災教育」は今後も続けてもらいたい。 ・教育相談コーディネータを中心に校内支援体制の充実を図り、ケース会議等を開きながら課題を抱える児童の支援を進めてきたことは重要であると感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校内防災体制については、引き続き検討を継続し、災害時に適切な対応が図れるようにしていく。また、校内の設備等についても市教委と連絡を取り、改善すべきところは早急に対応が図れるよう努力してもらいたい。 ・4年生対象の防災教育は、大変評価で切る。次年度以降も継続していき、児童の防災意識を高めるよう対応を望む。 ・一人一人の教員の支援教育に対する意識を高め、支援体制の一層の充実を図っていくとよい。
	2 地域に開かれた学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・学校支援地域本部事業を推進し、サポーターシステムを活用して、学習支援、学校環境整備等が進められている。芝生化事業も地域の協力を得ながら継続的に取り組まれている。また、学校・地域・保護者が共同で創る「わくわくフェスティバル」も実施し、交流を深めることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域教育力を活用して、無理なく取り組んできたことが定着している。これからも単発で終わることなく取り組み続けることが大切である。 ・学習支援、環境整備など、学校・保護者・地域が共同で創る行事の3つの柱をバランスよく配置し、無理なく取り組める体制を大切にしていくと良い。
III 教員の指導力向上	1 教員研修・研究の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・校内研究において、教師全員が公開授業を行ったことは評価できる。外部講師による適切な助言や新しい教育情報などは、教師の授業力・指導力の向上に欠かせないと感じる。 ・夏季休業中に自校の教員が講師となり体育の校内研修会を開いたことは評価できる。学び合う姿勢を大切にしてもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業研究を中心とした取り組みと今年度の成果を踏まえた取り組みは、今後も継続してもらいたい。 ・教師の力量の向上を図ることは、とても大切である。

